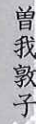


令和3年  
5月23日(日)

令和3年度  
通常  
総会

司会



曾我敦子

会員



開会宣言

佐藤武秀

副会長



会長挨拶



日頃より、一般社団法人 千葉県介護福祉士会の活動及び運営にご理解・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。また、関係諸団体の皆様におかれましては、ご支援を賜り、この場をお借りいたしまして感謝申し上げます。

さて、令和3年度の総会もコロナ禍の影響により昨年同様の開催方式となり、申し訳ございません。感染リスクを最小限に抑えるためにもご理解いただくことをお願いいたします。

昨年の今頃は、「来年にはコロナも終息している」と思っておりましたが、千葉県においては2度の緊急事態宣言に加え、まん延防止等重点措置が実施され、断を許さない状況下は変わりません。

私たち介護福祉士は、介護福祉ニーズを有する人々の心豊かな暮らしを支援する介護福祉の専門職として日々感染予防に努めております。この1年間で新しい生活様式への移行を踏まえ、仕事内容も感染予防対応に一層重点をおいたものとなりました。施設を例とすると、当たり前のように行っていた外出やご家族との面会も場合によっては制限されることもあり、人と触れ合うことの大切さに改めて気付かされました。

このような環境下において、当会活動にも影響の大きい年となりました。昨年度の年間活動は開催中止や内容の変更をせざるをえず、上半期は計画通りの活動実施が難しい状況でした。しかし、新たな活動スタイルの確立も得ることができた年でもありました。下記はその一例です。

・ZOOM研修は勿論のことハイブリット研修の開催  
・従前から実施していた講師派遣活動のPRと実績



八須祐一郎 会長



・研修開催にあたり当会版感染症防止マニュアルの作成  
また、千葉県介護人材確保対策事業補助金を活用させていただいて、著名な先生方を講師にお招きし、コロナ禍にもかかわらず多くの皆様に参加していただきました。

令和3年度事業計画におきましても、会員皆様をはじめとした介護職の方々のスキルアップの一助を担えるよう努めて参りたいと思っております。

環境の変化と云えば、本年4月、皆様もご承知のとおり、介護報酬改定が行われ、介護分野も根拠に基づく介護がより一層求められるようになりました。新加算については、科学的介護情報システム(LIFE)を主としたデータ提出とフィードバックされたデータに基づきPDCAサイクルの展開をしていく内容となっております。職能団体である日本介護福祉士会においても従前から「介護過程の展開の重要性」を発信してきておりますが、まさに根拠に基づく実践の見える化が求められていると言えるものです。当会といたしましては、「介護福祉士としての確固たる地位の確立と質の向上」に向け邁進して参ります。そのためには会員皆様の一層のご協力を賜りながら、新たな会員獲得を目指していかなくてはなりません。併せて、公益社団法人 日本介護福祉士会の「介護福祉士の未来は介護福祉士自身が切り開く」、このテーマの実現に向けた行動と発信に取り組んで参ります。

結びになりますが、会員皆様のご健勝を祈念いたしますとともに、引き続き当会の今後の活動及び運営にご支援を賜りますようお願い申し上げます。あいさつに代えさせていただきます。



議長  
石川正章  
会員



監査報告  
野口渉子  
監事



報告  
高橋仁美  
事務局長

総正会員数 676名  
出席会員数 373名  
(出席会員19名 委任状354名)  
会議の成立について、本総会は定款第22条規定の総正会員の2分の1を超える出席者があったので成立した旨を宣言しました。

○第1号議案

「令和2年度事業報告について」

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各委員会等の研修会の多くが中止または延期されました。理事会は状況によってオンライン開催に切り替えました。  
・キャリアアップ支援委員会では、昨年の基本研修は残念ながら中止となり、年2回予定の介護福祉士実習指導者講習会は1回開催できました。ファーストステップ研修は、延期分を感染防止対策をして対面研修で実施しました。  
研修員会のサービス提供責任者研修も感染防止対策を行い開催できました。また、倫理研修会（オンライン）を実施しました。

・啓発相談委員会では、「介護の日 記念講演会（対面研修）」及び「千葉県介護コンテスト（ハイブリット研修）」を行うことができました。  
・日本介護福祉士会、会長会等もすべてオンラインで出席しております。  
・推薦委員が出席する各委員会会議も書面会議やオンラインで参加されています。

○第2号議案

「令和2年度収支決算報告について（監査報告）」

新型コロナウイルス感染症の影響で、3分の2の研修会が中止となり、収入が減っております。しかし、ありがたいことに会員の皆様の会費納入（約700名）、持続化給付金（200万）がありました。  
集合研修からオンラインへ移行したことで、交通費がかなり削減できました。  
正味財産 合計30,395,908円となります。

監査報告は、野口渉子監事より行われました。第1号議案、第2号議案共に質問なく、賛成多数にて承認されました。

○第3号議案  
「令和3年度事業計画（案）について」

すでに5月1日に講師養成研修を感染防止対策を講じて対面研修を実施しました。昨年実施できなかった基本研修を6月から実施します。介護福祉士実習指導者講習会においても、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえて今年2回実施できることを願っております。また、対面集合研修への参加自粛をされている方に対しても、オンライン等で参加できるように配慮し介護技術等、スキルアップに重要な研修についても実施できることを願っております。

○第4号議案

「令和3年度収支予算（案）について」  
収入源は、なによりも正会員の会費であります。現在会員数が700名を割っている状況であり、会員の維持や増加についての対策を講じます。

賛助団体会員も日頃から当会へ協力してくださっている大切な会員です。1団体でも多く増やしていきたいです。

実習指導者講習会を年2回実施、介護の教本等書籍の販売も力を入れていきたいと思っています。

支出・予備費40万円については、新社会福祉センター（令和5年完成予定）への移転を申請しているため、引越時代、管理費等の準備費として残っています。

第3号議案、第4号議案共に質問なく、賛成多数にて承認されました。

議長より第3号議案、第4号議案の（案）の文字を削除の依頼し、全ての審議が終了しました。

閉会挨拶  
松下やえ子  
副会長



書記



岩崎則子

副会長



令和3年度通常総会  
記念講演



〈弱いロボット〉たちと考える

受け身のケア

〜高齢者の能動性を引き出す

関係性のデザイン

豊橋技術科学大学 情報・知能工学系

教授 岡田 美智男 氏



〈ひと〉と〈便利なロボット〉との関係は?

〈OOOしてくれるロボット〉

〈OOOしてもらうひと〉

- ✓ロボットとの間に距離が生まれ共感性も薄れる!
- ✓相手への〈期待〉は〈要求〉に変わる!
- ✓相手への〈要求水準〉をエスカレートさせてしまう!

自由自在! (自律性)  
次第に上手に! (有感情)  
つながり (関係性) ...  
すべてなくしている!

(受講者の声)  
ロボットというと、私たちの生活を豊かにする便利なものと考えてしまいました。しかし、岡田先生の話の伺い、高機能や多機能であるほど、人は受け身となってしまい要求が強くなり、寛容性が失われていってしまう。



便利さを追求したロボットとの生活は、人として幸せであるとは限らないことに気づきました。利用者には気配りや先回りする介護も、便利ではあっても利用者の中の喜びを感じる機会を奪ってしまうことも私たちは意識しなければいけないと思いました。

人は自律性、有感性や達成感、つながり感や関係性から、生き生きとした生活や幸せを感じるものであると聞いた時、私たち介護の世界と共通していると深く感じました。

介護でも、便利さや効率も追求されがちな現代において、人を幸せにするためには何が大切か、という原点を見つめ直すきっかけを頂きました。

利用者の能動性に働きかけるコミュニケーションや生活支援技術を頭に描きながら、今度こういう方法を試してみようかと想像して微笑んでしまうような貴重なお話をありがとうございました。

千葉県介護福祉士会  
広報委員会 鈴木 亨

研修会案内



「介護職対象認知症専門職研修

①中級編のみ三日間・

②中級・指導者編五日間」

日程①中級編のみ(三日間)  
令和3年7月22日(休)

7月29日(休)、8月4日(休)

②中級・指導者編(五日間)

(※前半3日間は①と合同研修)

①の三日間と8月18日(休)、8月25日(休)

会場 千葉県社会福祉センター

参加費 ①中級編のみ(三日間)

会員・準会員 9,000円

一般(非会員) 15,000円

②中級・指導者編(五日間)

会員・準会員 15,000円

一般(非会員) 25,000円

参加定員

25名

(原則、当該研修の初級編を受講・修了した者)

東葛ブロック研修会

千葉県介護人材確保対策推進事業

「介護福祉職員への期待とキャリア形成」

〜自己の成長に向けて、

自分みがき(自己研鑽)して下さるか

オンライン研修(ZOOMミーティング)

日時 令和3年9月4日(出)

10:00~12:30 受付9:30~

参加費 無料 参加定員 40名

「第34回介護福祉士

国家試験受験対策講座」

会場 千葉県社会福祉センター4階第一会議室

日時 令和3年9月11日(出)

10:00~16:30 受付9:30~

受講費 3,000円



事務局だより



会員数 六七六名

六月一日 現在

東葛ブロック 一七四名  
 千葉ブロック 一三九名  
 北総ブロック 一七〇名  
 君津・安房ブロック 六八名  
 東部ブロック 八四名  
 南部ブロック 四一名

賛助団体 八団体（敬称省略）

社会福祉法人生活クラブ  
 生活クラブ風の村 特養ホーム八街  
 社会福祉法人翠耀会  
 特別養護老人ホーム グリーンヒル  
 東洋羽毛北関東販売株式会社  
 社会福祉法人九十九里ホーム  
 障害者支援施設  
 聖マーガレットホーム  
 社会福祉法人広寿会  
 特別養護老人ホーム いすみ苑  
 株式会社ジェイシー教育研究所  
 社会福祉法人オリーブの樹  
 オリーブハウス  
 医療法人社団 一心会 初富保健病院  
 初富保健病院介護医療院

承諾を得て団体名を掲載させて頂きました。いつも本会運営についてご理解、ご協力頂きまして、心より感謝申し上げます。

事務局長より

令和3年度通常総会も無事終わり、今年度の活動に向けて「ことしこそは！」と計画を進めています。昨年は予定された研修会等がかなり中止となりましたが、その分モチベーションをアップして取り組んでいきます。

会員の皆様が参加しやすいよう、オンライン等の可能な方法での研修会・イベントを企画していきますので、開催の際は是非ご参加ください。

今年度もよろしくお願いいたします。

○千葉県介護福祉士会は、年会費を口座振替としています。口座振替が、まだの方は、口座登録をお願いします。口座登録の用紙は、事務局までご請求下さい。

一般社団法人  
 千葉県介護福祉士会

〒260-0026  
 千葉市中央区千葉港4-3  
 千葉県社会福祉センター3階

TEL: 043-248-1451  
 FAX: 043-248-1515

○事務所の電話受付  
 月～金曜日、9～16時となっております。時間外及び土・日・祝日に開催される研修会等のお問い合わせについては、留守電にて対応しております。どうぞよろしくお願いたします。

E-MAIL :  
 kai5niji@poem.ocn.ne.jp



ホームページ :  
<http://care-net.biz/12/kai5chiba/>



↑ ↑ ↑

こちらから研修時の感染予防対策や健康チェックシートを印刷できます。

編集：広報委員会・広報委員長  
 知りたい情報等がありましたら、上記メールアドレスにお知らせください！



<https://www.facebook.com>

/千葉県介護福祉士会-1866986893408630/

